

2012年9月6日

ラジオドラマ「17歳の保健室」 エイズ啓発を目的とした“スピンオフドラマ”の制作が決定！

今年6月4日（月）から7月27日（金）まで8週間、月曜日から金曜日の21時55分から22時まで全40回に渡って放送した、ラジオドラマ「17歳の保健室」。今度は、“スピンオフドラマ”として、青少年を対象とした、エイズ予防に関する教育、啓発ドラマの制作、放送が決定しました。

今回のドラマもエンターテインメント・エデュケーションの手法を用い、12月1日（土）の世界エイズデーに合わせて、熊本大学政策創造研究教育センターの河村准教授とFMKが共同でラジオドラマを制作、放送します。前回同様、大学生を中心としたライターズチームが、ドラマの根幹となるメッセージを明確にするワークショップを開催、あらすじを構成し、シナリオ原作が作成されます。出演は、「17歳の保健室」の出演者の中から数名が、中心人物として登場する予定。また、今回のドラマには、現在県内で展開されているピアエデュケーション活動や、自治体が行っているHIV抗体検査の促進活動といった内容も盛り込まれる予定で、10代、20代の青少年層に対し、HIVとエイズに対する正しい知識や認識を、教育・啓発することを、第一の目的として掲げています。

放送は、12月1日（土）19時から19時55分までの55分間、一話完結のスペシャルドラマとして制作、放送予定（番組タイトルは未定）。

なお、ラジオドラマ「17歳の保健室」は、10月に再放送を予定しており、詳しい放送日時等は、決定次第、FMKのホームページ等でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社エフエム熊本 編成技術部 岐部俊夫 〒860-0001 熊本県熊本市中央区千歳城町5-50

TEL：096-353-3131 FAX：096-355-5632 メールアドレス：info_kmmt@fmkumamoto.jp URL：http://fmk.fm/

以上